

令和2年6月17日

3年生保護者の皆様へ

奈良県立平城高等学校
校長 森田 好博

大学等合否結果の情報提供及び本校「進路のしおり」の活用について

薄暑の候、保護者の皆様には、平素より本校の教育活動に多大のご協力を賜り、誠にありがとうございます。

6月に入りましたが、現在もなお普段の高校生活ができない状況にあります。しかし、このような状況の中でも、心と身体の健康に十分留意し、目標の実現に向けて努力を惜しむことなく充実した毎日を過ごして欲しいと願い期待するところです。

さて、大学等の合否情報の業者への提供につきましては、個人情報保護の観点から法令に基づき慎重を期すことは勿論でございますが、大学等の入試は高校入試とは異なり、全国規模で実施されることから、各校における適切な進路指導を進める上で、全国規模のデータが必要とされ、実際には、業者（予備校等）と協力し合って進めている現状があります。

本校におきましては、データの扱いを、「本校の生徒が参加している模擬試験の業者であること」「業者がすでにお子様の同意の下に志望校や模擬試験の結果等の個人情報を有していること」の事由により、河合塾、駿台予備学校、及びベネッセコーポレーションの3業者に限定した上で、「その業者の模擬試験を受験している」「生徒が合否の情報提供に同意している」という条件を満たしている場合のみ、業者への合否情報の提供に応じています。

過去においては、業者からの情報提供に対する謝礼や見返りを受けていた高校があるとの報道がありましたが、本校におきましては、一切そのようなことはございません。

お子様には、ホームルームにおいて、本趣旨の説明用文書を配布し、大学等への合否情報の提供について改めて説明いたしますが、進路指導の充実のため、ご理解、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、本校作成の令和2年度「進路のしおり」のデータ編に進路状況や合否データなど、詳細な情報を掲載していますので、適宜ご活用ください。